

南大隅町根占で5月に入り、平たくてトゲが生えた不思議なカタツムリが見つかった。鹿児島大学 共通教育センターの富山清升教授(64)＝動物生態学・動物進化学＝によると、県の準絶滅危惧種ヘソカドケマイマイで、「鹿児島県レッドデータブックには南薩の記録はあるが、大隅地方の記録はなく珍しい」という。

カタツムリは1円玉ほどの大きさ。富山教授によると、殻が薄く、周縁に毛を生やす特徴から特定した。同種は主に種子島・屋久島、トカラ列島に分布している。

同町根占のパート馬場典子さん(54)が9日、民家のブロック塀に張り付いている10

毛が生えたカタツムリ続々 南大隅

1円玉ほどの大きさのヘソカドケマイマイ
＝南大隅町根占



匹ほどを見つけた。「初めて見た。かわいらしい」と眺めては喜んでいる。

【問1】 どこで、平たくてトゲが生えた不思議なカタツムリが見つかったのでしょうか。

【問2】 問1のカタツムリは、何という名前なのでしょうか。

【問3】 そのカタツムリは、何に指定されているのでしょうか。

【問4】 そのカタツムリは、どこに分布しているのでしょうか。

【考えてみよう】

2025年5月18日付13面

むずかしい漢字とことば

大隅(おお・すみ) 根占(ね・じめ) 準絶滅危惧種＝このまま数が減っていくと、いなくなる心配がある生きもの 南薩(なん・さつ)

珍(めづら)しい 殻(から) 薄(うす)い 周縁(しゅう・えん)＝まわり、ふち、はしっこ 特徴(とく・ちょう) 塀(へい) 匹(ひき) 眺(なが)める